

# せいめい小委員会報告

---

渡邊 誠(岡山理科大学)

# せいめい小委員会 委員

---

2019年10月に委員交代(佐藤さん, 松永さん, 峰崎さん, 神戸さんが退任)

- 渡邊 誠(岡山理科大; 委員長)
- 野上大作(京都大)
- 本田敏志(兵庫県立大) ※ 新委員
- 福井暁彦(東京大) ※ 新委員
- 松岡良樹(愛媛大) ※ 新委員
- 前原裕之(国立天文台) ※ 新委員
- 長田哲也(京都大) ※ 職名による委員
- 泉浦秀行(国立天文台) ※ 職名による委員

せいめい望遠鏡の  
共同利用観測に関する  
SACとTACの役割を担う

任期: 1期2年(通例2期)

現委員の任期は2021年9月末まで

# せいめい小委員会の活動 (2019年後期 その1)

---

- 2019年9月30日：2019年度第4回せいめい小委員会
  - 2020A公募準備(9月30日公募開始, 10月28日締切)
  - クラシカルとToOのどちらも行う課題の申し込み方法  
⇒ ToOとして申請
  - 分室長裁量時間(DDT)の割当方法  
19BではToO発動が少なくDDT時間の処理に苦勞  
⇒ 2020Aはひとまず現状で継続(クラシカル観測に多めに割り当てておく)
  
- 2019年10月31日：2019年度第5回せいめい小委員会
  - 委員交代：委員4名交代
  - 2020Aの応募状況確認

# せいめい小委員会の活動 (2019年後期 その2)

---

- 2019年12月5-6日：2020A採択会議
  - 共同利用は60夜相当
  - 通常の審査，採否決定プロセス(外部レフェリーに審査を依頼)
  - 申請：クラシカル11(+1※)件(60夜)，ToO8件(27.275夜)
    - ※ToO1件はクラシカルを含む課題
  - 倍率：夜数ベースで  $(60+27.275)/60=1.45$ 倍
  - カテゴリ：太陽系(3夜)，恒星(34.8夜)，銀河系(3夜)，系外銀河(29.875夜)，その他(16.6夜)
  - 採択：クラシカル9(+1)件(43.75夜)，ToO7件(30.6夜)
    - 採択課題：太陽系(0.75夜)，恒星(32.8夜)，系外銀河(25夜)，その他(15.8夜)
    - 不採択課題：恒星(2夜)，銀河系(3夜)，系外銀河(6夜)

# せいめい小委員会の活動 (2020年前期 その1)

---

- 2020年1月14日： 2019年度第6回せいめい小委員会
  - 2020B早期に本装置ローテーターにKOOLS-IFUを移設して観測可能とするよう京都大に要請
  - プロポーザルの評価方法：優先順位の決め方  
⇒ プロポーザルにその時期に観測する必要性・緊急性の記述を追加，レフェリーが緊急性を評価
  - データアーカイブ  
⇒ 2020Bからは公開することを公募文に明記，2020A以前の観測は個別に了解を得る
- 2020年3月11日： 2019年度第7回せいめい小委員会
  - PI装置の受け入れ方法  
⇒ 将来的に共同利用に供する装置であれば，せいめい小委員会で受け入れを審議して京大と協議する
  - 2020B公募準備(3月26日公募開始，4月27日締切 ⇒ 5月18日まで延長)

# せいめい小委員会の活動 (2020年前期 その2)

---

- 2020年4月30日：2020年度第1回せいめい小委員会
  - 緊急事態宣言に対する対応状況確認, リモート観測の現状確認
  - UM日程
  - データアーカイブ, 観測ログの扱いを議論  
⇒ 公開する, 本UMでユーザーの了解を得たい

# せいめい小委員会の活動 (2020年前期 その3)

- 2020年6月29-30日：2020年度第2回せいめい小委員会  
(2020B採択会議)
  - 共同利用は60夜相当
  - 通常の審査，採否決定プロセス(外部レフェリーに審査を依頼)
  - 申請：クラシカル7(+1※)件(53.5夜)，Too7件(20.5夜)  
※Too1件はクラシカルを含む課題
    - 倍率：夜数ベースで  $(53.5+20.5)/60=1.23$ 倍
    - カテゴリ：恒星(38.3夜)，系外銀河(31.5夜)，その他(4.2夜)
  - 採択：クラシカル6(+1)件(50夜)，Too7件(19.5夜)
    - 採択課題：恒星(41.3夜)，系外銀河(24夜)，その他(4.2夜)
    - 不採択課題：系外銀河(7.5夜)
  - プロポーザル様式  
⇒次回からPast Observationsで京大時間・共同利用時間を区別できるようにする
  - UM議題

# 今後の検討課題

---

- データ・アーカイブ共同利用は60夜相当
  - SMOKA, 占有期間1.5年予定, 観測ログも公開
- 新しい共同利用装置の受け入れ
  - 直近では3色カメラ(2021A or 2021Bから?)
  - 高速測光分光装置, 可視高分散分光装置, 赤外偏光撮像装置も続く
- キュー観測, 自動観測
  - 実現に向けて, 他観測所での実例をUMで紹介・ユーザー意見回収
- リモート観測
  - 2021年度に構築・試験, 2022年度から運用開始?